

令和元年度 民生常任委員会先進地視察研修報告書

- 期 日 令和元年7月31日（水）・8月1日（木）
- 視 察 先 石川県 金沢市・小松市
- 参 加 者 委員8名・随員1名 合計9名

【 石川県金沢市 】

- 人 口 464,123人（R元.7.1現在）
- 面 積 468.64平方キロメートル
- 視察事項 『子育て支援の取り組みについて』

1. 金沢市の概要

- 明治22年（1889年）4月1日の市政施行以来、近隣町村との度重なる編入・合併により市域を拡大、平成8年（1996年）に中核市に移行した。
- 自然に恵まれ、水が豊かな町であり、「用水のまち」として有名である。また、県庁所在地として交通網や商工業も発展しており、北陸有数の都市として高い利便性を持ち合わせている。

2. 「かなざわ子育て夢プラン」について

①基本理念と基本方針

- 基本理念である「みんなで育む 子どもの喜びが実感できるまち金沢」の実現のため、親子の成長はもちろん、「家族」や「地域社会」間の絆を深め、人との温かなかかわりを基盤とし、自然や文化に恵まれた金沢ならではの豊かな子育て環境を「未来」につなげていく計画として策定された。
- 「1. 親子が心豊かに向き合えるまちへ」「2. 仕事と生活が調和するまちへ」「3. 子どもの育ちを支え若者が自立できるまちへ」「4. 子どもと家族が健康に暮らせるまちへ」「5. 子どもが安全に安心して生活できるまちへ」を基本方針としている。

②仕事と子育ての両立への支援

- 女性の社会進出や多様な価値観から、保育ニーズを的確に捉えるためアンケートを実施し、通常、延長、夜間はもとより、私立保育園の預かり保育の推進、公共施設や民間企業の保育サービスの推進、放課後児童育成支援など社会総ぐるみで保育体制構築に取り組んでいる。

③かなざわ子育てすまいるクーポン事業

- 文化、スポーツ施設の利用券や子育てサービスの助成券、絵本交換券等を支給する。
 - ・お出かけクーポン：対象施設等に「お出かけ」するときに利用料が1回無料になる。
 - ・おためしクーポン：育児負担を軽くするサービスの最初の1時間が無料になる。

・絵本交換クーポン：絵本リストから希望の本1冊と交換できる。

④妊娠、出産、子育てに対する支援事業

○健やかな成長、発達のための生活習慣の確立への支援

○「子育てお役立ちBOOK」の配布

○市の子育て支援の拠点として、「子どもの広場」が7カ所、地域の子育て支援の拠点として、「かなざわ子育て夢ステーション」を144カ所設置。

○市で児童相談所を設置している。

3. 「子どもの貧困対策基本計画」について

○「すべての子どもたちの育ちを守り、一人ひとりが未来を切り拓けるまち金沢」を基本理念と理念とし、「1. 地域全体で見守り支える体制づくり」「2. 経済的困窮の世代間連鎖の防止」「3. 未来に夢と希望を持ち成長できる環境づくり」を基本方針としている。

○子どもの生活に関する実態調査の実施

・家計状況、生活習慣、教育の状況、居場所、児童自身のこと等についてアンケートを実施し、子どもの貧困の状況を分析した。

○関係団体ヒアリングの実施

・保育園、こども園、小中学校、高等学校、教育委員会、児童養護施設等、計14カ所の代表者、管理者、職員等から対面による聞き取りをした。

○基本方針の具体化に向けた新たな取り組み

・子どもソーシャルワーカーの設置、子ども学習総合支援事業の取り組み

4. 「金沢駅こどもらんど」現地視察について

○運営は、民間の団体に委託しており、事業内容は、交流・集いの場の提供、子育て悩み相談、子育て関連情報の提供、講習の実施、旅行者の授乳・おむつ替え・休憩の場の提供、イベントの実施などである。

○開所日は、火曜日から日曜日、祝日（年末年始を除く）の午前10時から午後4時、料金は無料、未就学児とその保護者が利用対象者である。

○平成9年に金沢駅周辺の商業施設等利用者のニーズに応えるこども広場として開設された。駅に設置することで市民だけでなく、観光客にも利用されることを狙いとしている。

○年間親子で約31,000人の利用がある。約200㎡の施設で、駅構内にあることから気軽に遊びに来ているようである。

○北陸新幹線の開業を機に利用者が増加した。

5. 所感

(かなざわ子育て夢プラン)

○金沢市教育プラザでは、教育と福祉が連携し、子どもの健全育成を支援する拠点として、

児童相談所、発達支援を含む福祉部門が一体になっている。本市においても市民が相談しやすい体制をとるべきと感じた。

- 保育利用支援員を設置し、保育料や認定こども園等への利用の相談、助言、斡旋などを専門に支援するなど、各課横断的な支援体制は、本市でも見習えるのではないかと感じた。
- 金沢市では、様々な子育て世帯に対応できるよう幅広く保育サービスの充実に努めており、本市においては、工業団地等で働く子育て世代のサポートも一考していく必要を感じた。
(子どもの貧困対策基本計画)
- 子どもの将来が生まれ育った環境に左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することが無いよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図らねばならないと感じた。
- 貧困の実態調査を実施し、何が課題であるか見出し、その対策を立てていることに感心した。
- 貧困家庭の現実をしっかりと見て対応することが必要であり、民生委員の協力も大事なことと考える。
- 本市の「栃木市子どもの貧困対策推進計画」と細部の差異があるにしても、子どもの貧困を取り巻く環境は多くの共通項があると感じた。
(金沢駅こどもらんど)
- 駅ビルの中にある200㎡ほどの遊び場であったが、委託料は年間400万円程であった。地域に小規模な遊び場を分散させる方が子どもたちのためになるのでは、と思った。
- ベビーカーを押していけるところに子育て支援施設が整っていることは素晴らしいと感じた。

【 石川県 小松市 】

- 人 口 108,312 (R元. 7. 1現在)
- 面 積 371.05平方キロメートル
- 調査事項 『介護ロボット普及促進事業について』

1. 小松市の概要

- 昭和15年12月1日に近隣の2町6村が合併して市制が敷かれた。その後も昭和30年、31年に編入合併があった。
- 石川県西南部に広がる豊かな加賀平野の中央に位置し、産業都市として発展した。
- 多様な産業集積が進んでおり、機械産業、繊維産業、伝統産業も盛んである。
- 空港・高速道路・鉄道が整備され、交通アクセスの良さと豊かな自然環境を活かした産業団地の造成や周辺のインフラの整備を進めている。
- 米どころとして知られ、そのほか、トマト、ニンジン、千石豆、大麦の収穫量も県内シェ

ア1位である。また、自慢の主要農産物を使った加工食品の開発・販売も進め垂れている。

2. 事業の趣旨

「社会福祉法人明峰会 特別養護老人ホーム 明峰の里」にて説明及び現地視察

○介護サービス事業者等における介護ロボット及びICT機器の導入を推進するもの。

3. 事業の目的

- 介護従事者の業務負担の軽減
- より質の高い介護サービスの提供
- 要介護者の自立支援

4. 補助金の内容

- 購入→補助率2分の1
- レンタル・リース→補助率3分の2（12カ月分まで）
- 上限額→事業所ごとに50万円まで
- 補助開始→平成26年10月1日

5. 補助実績

平成26年10月1日から平成30年3月31日

カテゴリー	商品名	台数
認知症ケアに向けたコミュニケーション・メンタルケア	○パロ	7
	○うなずきかぼちゃん	3
要介護者の自立歩行支援	○POPO	4
	○パートナーロボット バランス練習アシスト	1
介護従事者の負担（移乗／移動）軽減	○マッスルスーツ	1
	○ミニリフト低床タイプ	1
合 計		17

平成31年4月1日から令和元年6月30日

カテゴリー	商品名	台数
見守り支援	○アアムス	3
	○離床CATCHIII	98
ICT機器	○タブレット	19
	○ソフト（すぐろく）※リース	12カ月
排泄支援	○リリアムα	1
	○ポケットエコー ミルコ	1
合 計		122

- ・アアムス：リアルタイムで心拍・呼吸・体動・離床、睡眠の深さを確認できる。情報はタブレットで管理できる。（1台 125千円）
- ・離床CATCHⅢ：その人に必要な見守り支援（起き上がり・端座位・離床など）に応じた設定が可能。（1セット 250千円）
- ・ソフト（すぐろく）：タブレットに介護記録や食事・体温・血圧などを入力することで各種記録帳票の重複部分を同時に記載できる。（9千円／月）
- ・リリアムα：膀胱内尿量測定器（超音波）（1台 330千円）
- ・ポケットエコー ミルコ：超音波診断装置（1台 220千円）

6. 所感

- 国の補助金とは別に小松市独自の補助メニューにより、介護施設の意見等を聞き取り市が丁寧にサポートしている。施設利用者の穏やかな生活態度を見て介護が充実しているのだと感じた。
- 働く方の肉体的な補助だけでなく、導入することでより安全に、より便利に日常生活を送れる素晴らしい取り組みである。
- ICTの効果を感じさせられるものであった。介護の現場も変わりつつあることを実感した。
- 補助金の充実を図り、介護従事者の負担軽減を今後進めていくことが大事な役目と考えた。
- ソフト（すぐろく）は介護従事者が利用者の情報を共有でき、重複業務がなくなり、引継ぎもスムーズに行え、負担軽減につながっている。利用料金も月額9,000円と安価であり本市においても普及させるべきと思った。
- 小松市はこれから進んでいく高齢化社会に対応できるよう着々と支援を進めている。本市においても考えなければならない事案である。